



(1) Novel Japan University Model

従来の日本の国立大学の取り組みを大きく超えるレベルで、国際社会・地域社会との連携を強化し、協働による社会的インパクトやイノベーションを生み出す新しい公共財となりうる日本の基幹総合大学を意味する。その目指す社会は、持続可能性の追求を基盤とするウェルビーイング社会である。

(2) 全学教育科目

北海道大学の教育課程は教養科目・基礎科目・専門科目・国際交流科目の4つから構成され、そのうち専門科目は2年次進級後の学部で行われる。教養科目と基礎科目は1年次を中心に全学年を対象に開講され、この2科目を一括して全学教育科目と呼ぶ。1年次は全員、総合教育部において、全学教育科目を履修することになる。科目によっては高年次の履修も可能。

(3) 導入科目(北大での学び)

全1年次学生を対象に、1学期(春・タム中心)に実施。全8回の授業を行うが、第1～第7回はオンデマンド、第8回は対面で実施する。第1回の「北大の今を知る」でスタートし、次いで「北大の歴史を学ぶ」「正しく安全に学ぶために」「将来を見据える」「多様性を尊重する」「先輩とつながる(1)」「世界的な課題を知る」と続き、最後の8回目に対面での「先輩とつながる(2)」となる。

(4) 新渡戸カレッジ

新渡戸稲造の精神に基づき、各学部の専門教育において高い専門性を修得するとともに、学部横断的な特別教育プログラムを通して、コミュニケーションツールとしての英語力やグローバル社会で必要とされるリーダーシップ、チームワーク力、問題発見・課題解決力、社会的な責任・倫理観などを身につける。修得した学生には、修了証と称号が授与される。

北海道大学では一般選抜として、学部別入試に加え「総合入試」を導入しています。文系や理系の総合入試枠で受験し、本人の志望と1年次の成績によって学部学科に移行するシステムです。また、フロンティア入試(旧AO入試)では、新しい時代を生き抜く素養と、北海道大学で学びたいという強い意志を持つ若者を



イチョウ並木



札幌農学校第2農場。北海道最初の畜産経営の実践農場として1876年に開設。

「企業や自治体と連携して、知や技術に関わる

高度なリカレント教育プログラムを提供することにも力を入れています。また、学士課程から博士課程までシームレスなキャリア教育を実施しています。その一環として、昨年4月には博士課程学生を強力にサポートする新組織『大学院教育推進機構』を新設しました。さらに、世界的にみても最大規模のサマースクールである『Hokkaido Summer Institute テュート(HSI)』は、海外から多くの学生、研究者が集う本学が誇る夏の一大事業です」と語ります。

多様性が広がるフィールドで北海道と世界に羽ばたく

北海道大学では2022年4月にダイバーシティ・インクルージョン推進本部を設置するなど、グローバルで多様な研究環境づくりを目指しており、女子学生が学びやすいように大学の環境を整備したり、女性教員を増やそうとしています。そういう意味で女性にも選んでもらえる大学になってほしいと思っています。また、本学はまもなく建学から150年を迎えますが、それは次の発展の入り口です。本学には多彩な学問領域が揃っており、地球、社会人間という3つのフィールドに繋がっています。自分は将来そのうちのどのフィールドにコミットするのか、その答えは北大の学びの中にあると思います。本学は7割が道外出身の学生です。みなさんには、北海道大学で学んで卒業した後は、世界で活躍する人材になってほしい。一方で北海道に残って北海道のために貢献する人材も大歓迎です」と、實金総長は受験生にエールを送っています。

るとともに、学生が今後、学修を進めていく際の基礎となる知識、技術、心構えを身につけます。

そして、各学部での教育にプラスして、グローバル社会で活躍するために必要なスキルとマインドを身につけるプログラ

高度なリカレント教育プログラムを提供することにも力を入れています。また、学士課程から博士課程までシームレスなキャリア教育を実施して

トップレベル研究拠点プログラム(WPI)に選定されています。獣医学が強いのも北海道大学の特色で、人獣共通感染症国際共同研究

を求めています。「北海道大学は2022年4月にダイバーシティ・インクルージョン推進本部を設置するなど、グローバルで多様な研究環境づくりを目指して



ほろきんまよひる 實金清博総長  
1979年北海道大学医学部医学科卒業。91年医学博士(北海道大学)。アメリカ合衆国カリフォルニア大学デービス校客員研究員、文部省在外研究員、札幌医科大学医学部教授、北海道大学大学院医学研究科教授、同病院長などを経て2020年より現職。

〒060-0817 北海道札幌市北区北17条西8丁目 アドミッションセンター TEL 011-706-7484 <https://www.hokudai.ac.jp/>

# 北海道大学

「新渡戸カレッジ」です。すべての学生を対象とし、学部教育を受けながら必要な授業科目を履修、国際社会で活躍するリーダーシップの醸成を目標とした教育が行われています。また、文理を問わず全学的にディ

トップレベル研究拠点プログラム(WPI)に選定されています。獣医学が強いのも北海道大学の特色で、人獣共通感染症国際共同研究

を求めています。「北海道大学は2022年4月にダイバーシティ・インクルージョン推進本部を設置するなど、グローバルで多様な研究環境づくりを目指して

1876年に札幌農学校として開校した北海道大学は、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」という4つの基本理念を建学の精神と掲げ、国立大学として最多の12学部を持つわが国屈指の基幹総合大学として発展してきました。

2026年には創基150周年を迎え、世界の課題解決に貢献する大学を目指して新たな歩みを踏み出します。その歴史や地理的特性からサステナビリティの思想は北海道大学の遺伝子として継承されており、広範なフィールドサイエンスをはじめとして世界レベルの研究を展開しています。「光は北から、北から世界へ」のもと、自然と一体化したキャンパスを持つ「比類なき大学」としてグローバル人材を輩出しています。

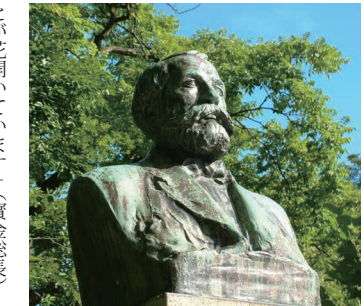
# 北海道大学

ウエルビーイング社会へVISION2030策定

インパクトランキングで4年連続で国内1位に

リカレント教育の実践と「北大の学び」本格始動

# フロンティア精神など4つの基本理念のもと 世界の課題解決に貢献する人材を育成し 持続可能なウエルビーイング社会の実現を目指す



クラーク博士の胸像

とが花開いています」(實金総長)

北海道大学では2021年に「サステイナビリティ推進機構」を設置して、グリーン・スマート・サステイナブルキャンパスの実現を目指していますが、その象徴的なものの一つが、今年6月に北海道大学と北海道電力、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター(フーステック財団)の3者で締結した「北海道大学キャンパスにおけるゼロカーボン実証実験事業に関する連携協定」です。